

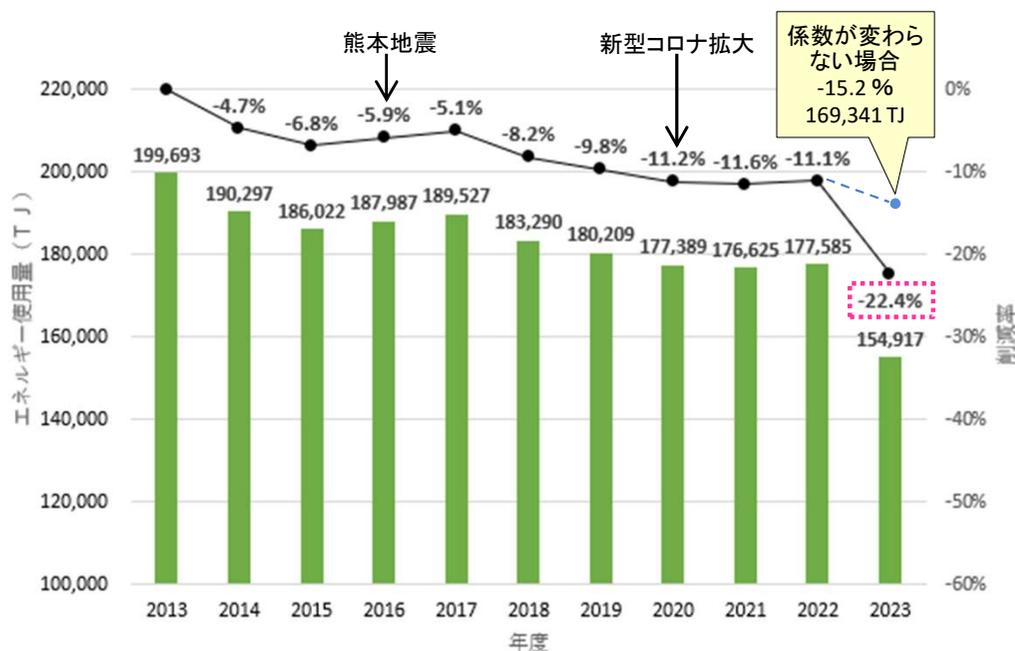
# 2023年度の本県の温室効果ガス排出量について

①2023年度の県全体のエネルギー使用量は、2013年度比22.4%削減。

②県全体の温室効果ガス排出量は、2013年度比28.1%削減。

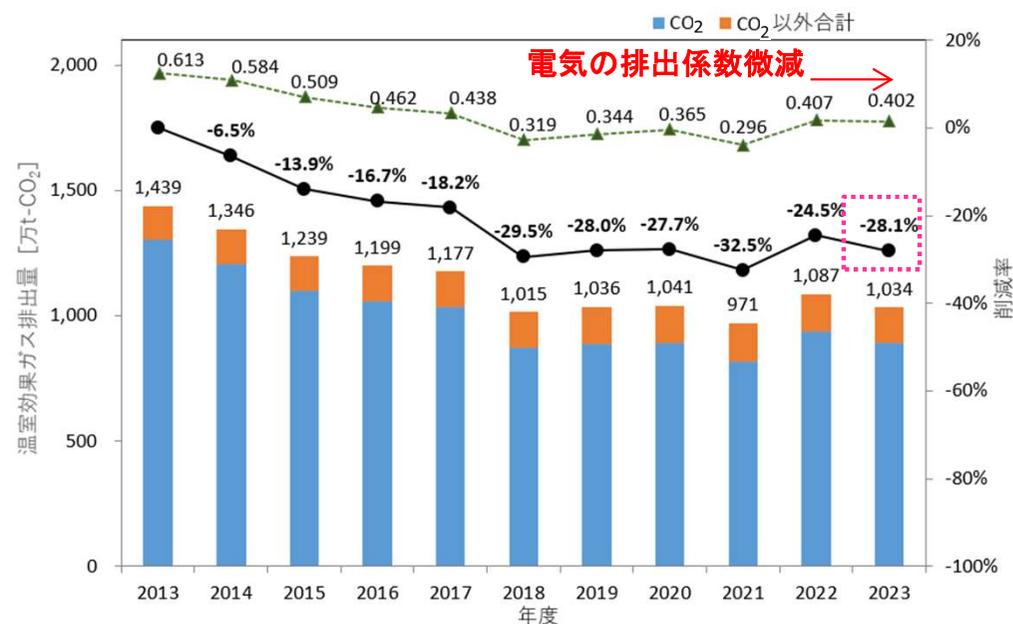
※吸収・固定量込の場合 2013年度比33.9%削減

## ①県全体のエネルギー使用量の推移



・国の関連法令の改正に伴い、2023年度分から電気や燃料の使用量 (kWh,t,kL等)からエネルギー量(GJ)に換算するための係数等を変更。

## ②県全体の温室効果ガス排出量の推移

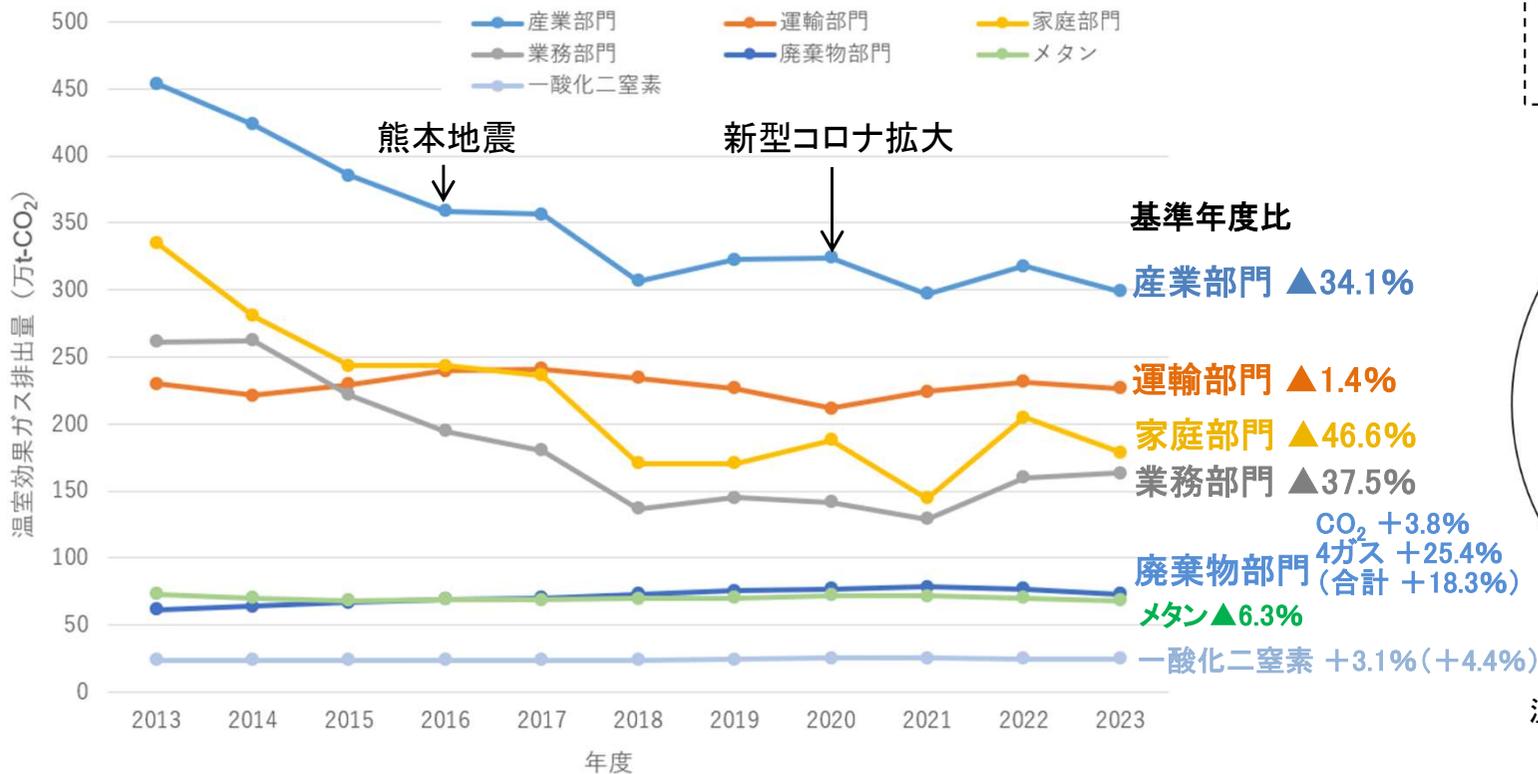


・第七次熊本県環境基本計画策定に当たり、過年度の排出量について、2023年度の国の温室効果ガス排出量及び吸収量の報告における算定方法の見直しによる過年度の数値修正等を踏まえ、一部遡及修正を実施。

ガス種別排出量の内訳(万t-CO <sub>2</sub> )	CO <sub>2</sub>	メタン	一酸化二窒素	代替フロン等4ガス	温室効果ガス合計
2023	889.1	68.4	24.7	52.0	1,034.3

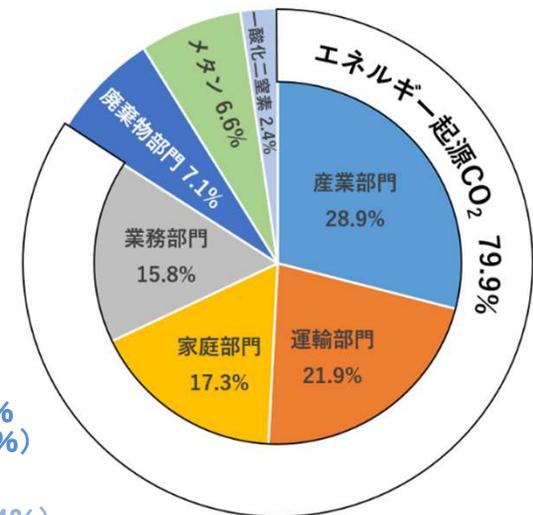
# 本県の部門別の温室効果ガス排出量について

●全体の約8割を占めるエネルギー起源CO<sub>2</sub>のうち、家庭、業務、産業、運輸の順に2013年度に比べ排出削減は進んでいる。



2030年度削減目標(△50%)

ガス種別及び部門	削減目標	
エネルギー起源CO <sub>2</sub>		
家庭部門	△66%	
産業部門 (エネルギー転換部門含む)	△40%	
業務部門	△51%	
運輸部門	△35%	
廃棄物部門	CO <sub>2</sub>	△15%
	その他4ガス	△38%
メタン(CH <sub>4</sub> )	△11%	
一酸化二窒素(N <sub>2</sub> O)	△17%	



※ メタン及び一酸化二窒素の削減量については、これまで各部門に含めて算定していたが、今後は国の「地球温暖化対策計画」との協調を図りつつ取組みを推進し、削減状況を把握する必要があることを踏まえ、国と同様、個別の区分として設定。